

9月例会報告 北見YEGまつり Work experience



北見商工会議所青年部
地域交流委員会
委員長
大野 浩二
(有)大野米穀
取締役

本例会は「北見YEGまつり」を、職業体験事業として、北見市教育委員会、ジヨブカフェ北見北海道様から後援いただき、三部構成で開催致しました。

本年は、花屋体験、歯科医師体験、美容師体験、車両整備体験、パティシエ体験、焼肉屋体験、印刷屋体験、木工屋体験の8体験で行いました。今年から対象年齢を中学生以上の学生に引き上げる事と、第一部の職業体験を北見経済センター



や各協力会員企業・アストモスクッキングスタジオを利用する事で、より普段の仕事内容に近い体験を提供できました。

第二部はアイスカッションに向けて懇親を深めてもらおうと、参加者と各職業体験担当メンバー、講師の方が第一部の体験を振り返りながら昼食をとりながら交流を深めました。

第三部では今回のYEGまつりが職業体験だけではなくこの地域の若者が将来地元で働くのには何が足りないのか、また何を望んでいるかを知りたく進行了しました。参加者には「北見がどんな街だったら働きたいですか?」、「北見YEGメンバーには「どんな街なら多くの若者が北見で働くと思いますか?」のテーマでブレインストーミングの手法を用いアイスカッションを行いました。第一部、第二部を通して参加者と担当メンバーが懇親を深めてもらったので、良い雰囲気の中、第三部のアイスカッションが開催されました。各体験のメンバーを一つのグループとし、体験の映像を流しながらアイスカッションを行い、休憩時間にはパティシエ体験で作ったケーキが振舞われるなど和やかに進んでいきました。最後に各体験の全メンバーがアイスカッションで話し合った意見を参加者の前で発表し閉会しました。様々な考えがありました。若者が北見で働く事に対しての本音に近い部分も見えたと感じました。

体験者総数が定員に達しなかったのは、各体験企業がなかなか決まらなかった事とそれに伴いチラシ配布が遅れた事等が原因かと考えます。参加者体験数は各体験の定員総数の約半分の人数となりましたが一人一人に直接指導・対話が出来たために体験者の満足度はかなり高かったと思います。また、会員企業のガイドブッ

クを作成し企業PRとし配布しました。本年度は興味のある職種に応募していただいた学生たちなので真剣なまなざしで体験し、また担当メンバーとの和気あいあいとした姿を見ることが出来ました。今回いただきました職業体験アンケートの結果は11月例会で発表します。

最後に、この事業に関わったすべての皆様から感謝を申し上げ事業報告とさせていただきます。



本例会は、大勢の人に向かって要点をまとめ、的確に自分の思いや考え方を伝えるためにはどのような事に気を付けていけばよいのかを学ぶ研修例会を行いました。

例会は二部構成とし、第一部はスピーチについて学ぶレクチャー編、第二部では例会参加者にスピーチ練習を行って頂く実践編として進行致しました。

第一部では、経験豊富な北見YEGのOBである舛川誠先輩・中川勝一先輩・岡村金司先輩にインタビュ映像に出演頂き、スピーチに臨む際の事前準備の大切さや、緊張との向き合い方などの心構えについてご教授いただきました。

第二部では、第一部で学んだ内容を取り入れ、当委員会が用意したテーマについて発表者が3分間スピーチを行い、その後舛川先輩・中川先輩・金林会長に講評を頂くという形でスピーチ練習を実践して頂きました。ステージを本番さながらに設え、普段の例会とは違う雰囲気の中でスピーチを行う事で、より実践に近い有意義な練習が出来たものと思います。また、講評いただいた先輩方から心温まるアドバイスも頂き、発表者はもちろん聴衆として発表を聞いていた方々にも今後のスピーチに生かして頂けるのではないかと思います。

本例会がスピーチ能力向上のきっかけとなり、青年経済人としての資質向

上につながれば幸いです。

最後になりますが、会員資質向上委員会としまして「楽しく学ぶ研修例会」を目指し、計4回の例会を開催させて頂きました。参加して頂いた皆さんから、良い例会だった、楽しい例会だったとお褒めの言葉を沢山頂戴しました。

私の無茶振りにもしっかりと応え、様々な意見やアドバイスを出しながら例会を共に構築してくれた素晴らしい委員会メンバーと、頼りない私を見捨てずしっかりとフォローして頂いた両副委員長、理事初経験の正副委員長を導いてくれた随行副会長、そして本例会を含む4回の例会にご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第30回北海道ブロック大会 湯之国登別大会に 参加して



北見商工会議所青年部 専務理事
武田 哲司
株式会社たけだ セブンイレブン
北見高菜西町店オーナー

毎年、北海道商工会議所青年部が開催しております北海道ブロック大会が第30回という節目に今年道道南は登別の地で9月8日、9日に行われ、北見YEGからも多くのメンバーで参加いたしました。

今回は登別という事でやはり温泉という所を楽しみにして参加をいたしました。食や観光、地元を取り組みを直に見る機会でもありましたので、分科会についても参加をされたメンバーもおりました。参加した分科会について紹介をします。

一つの分科会では、「湯乃国登別うまいもんでなまら討論会」と題して、地元食ブランド開発や販売促進を目的としたご当地ブランド認定制度「鬼のイチオシ」商品などの試食を通じてご当地商品の販路拡大、宣伝手法について討論をする分科会がありました。

もう一つの分科会では、「登別地獄谷見学、足湯トレッキングツアー」と題して、登別では有名な観光スポットでもあります地獄谷の説明を受け、長い歴史と

泉質が豊富な温泉資源がであることを聞いた後、実際に地獄谷の奥の方までトレッキングをして、登別の財産ともいえる温泉の源泉を体験する分科会がありました。

当日は、9月にしては大変暑く天気も良くすばらしい大会でした。

また、宿泊はもちろん登別温泉街で食事と温泉を堪能させていただいたことを報告として第30回北海道ブロック大会湯乃国登別大会の参加報告とさせていただきます。

来年はお隣、美幌でブロック大会がございますので、また多くの皆さんで参加をさせていただきたいと思っております。



YEGが創る 夢ある北海道会議



北見商工会議所青年部
出向理事
地域交流委員会所属
中井 真太郎
関エース・クリーン
常務取締役

11月18日(土)に北見で第4回「YEGが創る夢ある北海道会議」(以後夢会議)の道東・道北の部会が開催されました。本年度の夢会議は親会が掲げる北海道成長戦略ビジョンをテーマに各地域で抱えるリスクをどのようにチャンスとして生かすことが出来るかを各単会に持ち帰り、考える事を目指したフォーラムを企画しております。全道各地より集まった約40名の出向者を中心に成長戦略ビジョンを学び、各地域の重要課題を3つ抽出し、「人材」「安全・安心」「観光」について基調講演とパネルディスカッションを行う事になりました。本年度、北海道商工会議所青年部連合会(以後北海道YEG)佐藤会長より他団体との連携事業の企画を命題として与えられて参りましたが、各青年団体との交流の模索をしましたが、この成長戦略ビジョンを共有するうえで我々YEGと立場の近い北海道商工会青年部連合会(impulse)と立場も等しく課題を共有できると考え、後援をいただき共に本フォーラムに賛同いただく事にな

りました。このフォーラム後に夢会議メンバーで提言をまとめ道商連岩田会頭へ提出することも考えております。この一年の活動が実り多いものとなるよう北見YEGメンバーにもご協力いただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

成長戦略ビジョンフォーラム 「輝く夢への成長戦略 〜リスクからチャンスへ〜」

先般における北海道の現状は急速な人口減少や高齢化、自然災害や燃料高騰による川上インフレになやまされている。そこで我々、北海道商工会議所青年部連合会、YEGが創る夢ある北海道会議は(社)北海道商工会議所連合会が掲げる「北海道成長戦略ビジョン」を題材に他団体と連携をはかり学びの場を持つこととした。これを機会として、各単会が抱える地方のリスクを「成長する」チャンスへ転じ、地域経済が発展し未来を創造する事を目指す。

- 日時/平成29年12月9日(土)
- 場所/京王プラザホテル札幌
- 後援/北海道商工会青年部連合会、北海道商工会議所連合会
- 基調講演/からのまづくり会社 専務理事 湯浅篤氏
北海道開発局建設部 道路計画課長 橋本幸氏
- パネルディスカッション/コーディネーター
地域戦略プランナー 小磯修二氏
- パネリスト/湯浅篤氏(からのまづくり会社)
橋本幸氏(北海道開発局)
- 大森美秋(impulse会長)
- 佐藤文隆(YEG会長)

北見YEG サークル活動

通常の例会とは異なり、代々親睦委員会系で企画・サポートを行っている活動です。そもそもこの活動は、1年に1回開催し、様々な企画(例/ソフトボール、ツーリングなど)の下、会員の皆さんの共通の趣味などを通じて親交を深める場として活用されてきました。

昨年からは、新しい試みとして複数のサークル活動(ゴルフ・麻雀・ツーリング・スキー&スノーボード)を同時に立ち上げ、一人でも多くの会員に参加してもらえ、更にはOB会員の皆さんにも声かけ、現役とOBとの交流の場としての活用も良いのではないかと委員会内で考え、実行しました。

おかげ様で、ゴルフ・麻雀は既に2回開催、スキー&スノーボードも1回開催されました。サポート側の私自身もサークルに参加しましたが、参加した皆さんを見ていると普段交流の機会が少ない会員同士やOBとの会話も弾んでいて良かったと思います。

最後になりますが、次年度でも是非とも継続して頂きたいと思っております。

北見YEGでは、会員の皆さんの親交を深める場としてサークル活動を実施しています!

北見商工会議所青年部
委員交流委員会
委員長
飯田 唯勝
院長
いまだ歯科クリニック



NEW FACE

新入会員紹介

10月までに1名の新たな会員が入会いたしました。今後大きな力となる新入会員の皆さんをご紹介します。



北見商工会議所青年部
会員資質向上委員会所属
石崎 徹
海田鋼材
常務執行役員

十月からお世話になります、株式会社海田鋼材の石崎です。この会には、株式会社松浦板金工業所の後藤田常務に薦められ入会しました。今までは、このような集まりは敬遠してきましたが、社内での役割が変わるにつれ、自分の能力不足に悩んでいる時期でしたので、良い機会だと改心しました。多くの異業種の皆様方と交流させて頂き、この地域のために少しでも役立つ事が出来、それらの活動を通じ己のスキルアップになればと思います。所属した委員会のメンバーにも恵まれましたので、楽しみながら頑張っていこうと思います。今後とも宜しくお願い致します。

新しい仲間を募集しています!

北見商工会議所青年部(北見YEG)では、新入会員を随時募集しています。

北見YEGとは会員相互の親睦を深め、企業経営者及び企業幹部としての研鑽を積み、北見商工会議所の事業活動への参画と協力を通じて、地域における商工業の振興と発展に寄与する団体です。

定例会や委員会などのほか、会員交流事業も活発で、対外的にも積極的に活動しています。

興味がある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

商工会議所青年部

「YEG」って?

商工会議所青年部は、次代の地域経済を担う若手経営者・後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と会員相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所の一翼を担うという理念のもとに、各地の商工会議所に設置されています。

現在の会員数は、およそ28,000人(日本商工会議所青年部(日本YEG)加盟)を数えるまでに大きく成長してきました。青年部出身の会頭、副会頭も増え、常議員、議員を合わせると約5,500人になりました(現役員を含む)。また、地域の事業者の後継者として若さと情熱をもった若き経済人として、産業分野のリーダーとして活躍しています。まさに「若き起業家集団」として、地域の次代を担う志の高い経営者の育成に貢献していると確信しています。日本YEGは、ますますその存在と責任の重さを感じながら、真に地域が繁栄していくためのリーダーづくりに努力していきます。

YEG会員

企業訪問



株式会社小柳中央堂
特販部部长
高橋 義彦さん
北見商工会議所青年部
監事
総務広報委員会所属

高橋さんはコピー機やパソコンなどの事務機器全般を扱う株式会社小柳中央堂の特販部部长として活躍されています。

「営業品目としてももちろん事務機器がメインではありますが、日本赤十字北海道看護大学と共同開発研究したSAFEという暴風雪車内対策キットも取り扱っています。冬の猛吹雪の心配のあるこの地域でこのキットが冬の安全に少しでも貢献出来たらと考えています」と話す高橋さん。



仕事を離れると4年前前から始めたロードバイクが楽しみのひとつ。今年はいよいよ100kmのイベントにも出場したそうです。「走り終わった後のビールは格別」と笑う高橋さんが印象的でした。